

なかしゅんべつ

2012
12
No.419



目 次

中央会会長挨拶	2	生乳課情報	9
青年部のページ	4~5	別海高校から	10~12
女性部のページ	6	店舗利用者懇談会	13
営農対策情報	8	年末・年始の業務日程表	16

雪印研究農場を視察し、広大な圃場内の播種が職員の手作業で、1株ごとに何回も改良を重ねられているとの説明に感銘を受けた青年部の参加者たち。

農協法公布記念日があたつて



北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され65年目を迎えました。制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題がありました。

このような時代背景の中から農協法が施行、全国各地で農協が設立され、現在に至つております。農協は「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会的・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

また、平成24年は「協同組合がよりよい社会を築きます」をスローガンとした公共でも利潤追求の企業でもない協同組合が人間の暮らしを豊かにするという認識のものと国際協同組合を丰かにするという認識のものとの間に大きな変化が生じました。震災においても再認識された「つながり」「協同」の役割を再認識し、協同組合の力で農業と地域を豊かにすることが私たちの使命

です。

さて、JAグループ北海道は、本年11月21日に「協同活動でつくる持続可能な農業と豊かな地域社会」を主題に第27回JA北海道大会を開催し、大会議案「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」を決議します。

北海道農業等に関する取り組みでは、食料基地北海道として、安全・安心な農畜産物を生産、安定的に消費者に提供するという使命を果たすために、持続可能な北海道農業の実現に向けて、必要な農業政策を国に求めていくとともに、自らも農業生産を担う多様な担い手の確保・育成、農業生産に意欲を持つて取り組める農業所得の拡大、食の安全・安心対策の実施と環境に配慮した農業の実践に取り組むことを決議します。

また、組織・事業・経営に関する取り組みでは、JAは農家組合員の世代交代が進む中にあって、農業・地域さらにJAの経営を担う次世代の担い手の正組合員加入を促進し、次代に向けてともに協同活動に取り組むこと、地域におけるライフラインの一翼を担うものとして、総合事業体の強みを生かし、組合員・利用者（地域住民）から高い満足度を得られるサービスを提供するため、自らがさらなる経営の健全性向上に

取り組むこと、加えて、組織を支える人づくりとJAグループ北海道への理解醸成に向け広報活動に積極的に取り組むことを決議します。今後、大会決議に基づく戦略目標の実践に向けJAグループ北海道の総力を挙げて取り組みましょう。

なお、例外なき関税撤廃をめざし米国基準で規制・制度のルール統一をはかるTPP交渉は、国家の主権をも侵害する危険性のある極めて異質で極端な貿易交渉です。TPP交渉に参加することは、わが国の社会経済システムや農業を破滅させ、食料安全保障を放棄し、安全・安心な国民の暮らし、医療などわが国の根幹にかかる制度を崩壊させることになり、断じて認められるものではありません。引き続き、多くの国民の理解と支持を得て、政府のTPP交渉参加断念を実現するまで最大限の運動を展開してまいります。

今後とも厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員の皆様が農協法公布記念日を契機に、農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業農村振興の司令塔としての役割を發揮し、頼れる組織として益々発展するようともに頑張りましょう。

道産ビートパルプの詰め替え施設が完成しました

道産ビートパルプの安定供給とコスト低減を図る目的に、平成23年度より計画、取り進めしておりました詰め替え作業施設が旧クーラーステーション跡に完成し、9月28日に竣工式と安全祈願祭が行われました。



倉庫業務について、25年10月をめどに旧クーラーステーション跡地に事務所を移設し、業務を行う計画で進めております。

別海貨物について、(株)式の主催も別海貨物が取り進め、修拔式、参列者による玉串奉奠が執り行われ、篠田糺会長挨拶の後、来賓より小湊組合長・ホクレン中標準・後藤支所長、全酪連札幌・岡田支所長より祝辞をいただき、施設の概要説明と詰め替え作業のデモンストレーションが行われ20kgの紙袋から500kgのパックに素早く詰め替えが行われ終了しました。

現有の倉庫施設（通称：駅前倉庫）については、昭和30年、40年代に建設した施設が3棟あり、老朽化して倒壊の危険性が高いこと、また、倉庫より荷物の搬入・搬出時の道路交通が非常に危険であることなどが危惧され、組合員のコスト低減対策に向けた取り組みについて農協も課題をもつていました。

このような状況であ

ることから、倉庫の移転建設及び道産パルプのコスト低減を図るために、倉庫の運営と配達を担っている(株)別海貨物と協議を重ね新設倉庫2棟について、(株)別海貨物が建設し、ホクレン・全酪連の道産パルプ扱い分を各製糖工場から運搬保管、紙袋からパックへの詰め替え作業を一連で行うことによって削減が図られます。また、パルプ価格についても通常同一価格で供給できる体制ができたことで、他社の価格抑制にもつながると思われます。

建設に至るまでの経過



▲倉入された詰め替え前の紙袋



▲詰め換えた後のパック



市川牧場を視察し営農の説明を受けました

青年部 視察研修

視野を広めることができ 今後の経営に役立つ視察研修

青年部(金子琢磨部長)では、10月24日(水)～26日(金)にかけて、平成24年度視察研修会を青年部員7人の参加のもと開催いたしました。



手作業で播種がされ、1株ごとに分けられ改良を重ねる

株雪印研究農場と株IHIスター農機具工場を視察

2日目 北広島市にある、(株)雪印研究農場を視察しました。研究農場では晴天とのこともあり、施設内にあります試験圃場内を見学させていただきました。圃場内では、チモシー、クローバー、アルファルファ等多種にわたりる品種をみせていただきました。また、一番驚いたのが何十haある圃場内の全てが、職員による手作業で播種がされていたことです。一株ごとに分けられて何回も改良を重ねられ、厳選された種子が市場に出回つているとのことでした。

次に(株)IHIスター農機具工場へいきました。工場内では職員2人に対応していました。そこで、部品置場、溶接、組立など、工程ごとのライセン内容を説明いただきながら広い工場内を見学してきました。残念ながら塗装ラインについては安全上の都合により、立入り規制がありました。しかし、1つの機械が完成するまでの一連の工程を見させていただき、部員からは「おお」と感動の声も聞こえました。

夜には懇親会を開催し部員同士の交流を深め、両日



参加者一同、IHIスター農機具工場前にて

ものを使うよう牛の体を考えた経営をしている姿が見えました。

ロボット搾乳へ転換、牛の体を考えた経営

1日目 J A 鋸路太田・市川 牧場を視察しました。市川牧場では10年前よりつなぎ牛舎（当時経産牛60頭）からロボット搾乳（現在経産牛93頭）へ経営転換をし

ました。転換後の1～2ヶ月は牛がうまくロボット搾乳器に入りませんでしたが、3カ月が経つ頃には落ち着いてきました。乳量は2～3割増しになっているとの

ことで、24年度10月では2万2400kg(1日平均乳量75kg)超えの経産牛もいるとのことで、今後も乳量増に向け試行錯誤することでした。乳房炎については、つなぎ牛舎の時よりも

全く出ないとのことでした
が、1日3回の牛床清掃、ま
たサイレージは水分の低い

ものを使うよう牛の体を考
えた経営をしている姿が見
えました。

Moving it 根室地区JA青年部大会 希望を繋ぐ強い農業を目指して



根室地区青年部大会会場に詰めかけた青年部の皆さん

J A 根室地区青年部連絡協議会主催による根室地区青年部大会が、11月2日(金)中標津町寿宴にて開催され、当青年部(金子琢哉部長)から12人の部員が参加いたしました。今、青年部に求められて

大会では道青協前会長・今井貴祐氏による「私が青年部活動から得たもの」の講演があり、その後「青年部のココが嫌い」「食育をどう伝えるか」「酪農と環境について」「農家戸数減少について考える」第1～5分科会に分かれ、意見交換が行われました。普段疑問に感じている事や不安なことなど、数多くの意見が出ておりました。

また、アームレスリング大会には佐々木克典さん、青年の主張では藤原寛史さんが出場し、中春別地区代表とし健闘いたしました。

Moving it～希望を繋ぐ強い農業を目指して～を大会テーマにし、相互研鑽を図る機会と位置付けし、平成24年度根室地区JA青年部大会が開催されました。

大会では道青協前会長・

確実なものとし、地域社会を盛り上げ成長していくしかなければなりません。そこでMoving it～希望を繋ぐ強い農業を目指して～を大会テーマにし、相互研鑽を図る機会と位置付けし、平成24年度根室地区JA青年部大会が開催されました。

和やかな雰囲気で、楽しい交流会となりました

女性職員との交流会



青年部の皆さんと話もはずみ、楽しいひとときを過ごしました

青年部(金子琢哉部長)では、職員との親睦を図る目的で毎年開催しております、女性職員との交流会を11月16日(金)に中標津町にて開催いたしました。

青年部員13人、女性職員

8人の参加のもと開催された交流会。毎年開催していることもあります、皆さん1次会から会話が弾み、話題が絶えないまま2次会会場へ。2次会ではお酒もまわりカラオケを歌つたり、プライベートな話に華を咲かせるなど終始賑やかな交流会となりました。

今回の交流会を通して今まで以上に職員、青年部員の関係がより良い好なものになつたのではないかと感じます。参加された職員、青年部員の皆さんお疲れさまでした。

1トナ話に華を咲かせるなど終始賑やかな交流会となりました。

J A女性

J A北海道女性協議会創立60周年記念・第51回J A北海道女性大会・北海道家の光大会

気づこう一人ひとり、行動しよう仲間とともに

J A北海道女性協議会創立60周年記念・第51回J A

協女性部から畠山友子部長、浮川優子副部長が出席いたしました。

60周年記念表彰では第14代会長伊藤久美子さん、第15代会長河田さえ子さんに感謝状が贈られました。

60周年記念表彰では第14代会長伊藤久美子さん、第15代会長河田さえ子さんに感謝状が贈られました。

講演では「幸せホルモン出します」と題し、奈良県から高本恭子氏を講師に招いて音楽療法のお話をしていただきました。音楽を使つた心理テストや講師のユニークなトークで参加者に大変好評でした。

また、農作業ファッショントリオが行われ、全道の各地区から趣向を凝らした作業着が出品されました。同じ会場で手作り工夫展も行われ、J A中春別女性部からは阿部郁子さんの押し花とドライフラワーを使った置物を出品しました。



北海道女性大会・北海道家の光大会が、11月8日(木)から9日(金)ガトーキングダム

疑では部員からJ A運営に採択され、質化基本方針が採択する方法についての質問が相次ぎました。



J A北海道女性大会では、行動しよう仲間とともに」をメインストリートに活動報告と組織強化基本方針が採択され、質化基本方針が採択する方法についての質問が相次ぎました。

フレッシュミセス部会（花岡桂部会長）では11月6日㈫、日本グラスアート協会認定インストラクターの水野友栄さんを講師に招き、花柄のティッシュケースを作りました。透明のティッシュペーパーに赤と緑のフィルムシールを張り付けていき、

フレッシュミセス部会（花岡桂部会長）では11月6日㈫、日本グラスアート協会認定インストラクターの水野友栄さんを講師に招き、花柄のティッシュペーパーに赤と緑のフィルムシールを張り付けていき、

少し難しかったけれど花柄のティッシュケースが完成

フレッシュミセス部会グラスアート教室



「ちょっと難しい」といしながら真剣に取り組んでいます

北海道をもっともーっと

食べようディナーパーティー

11月22日(木)、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて「北海道をもっともーっと食べようディナーパーティー」が開催されました。

このイベントは2006年から開催され、牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介を行い、地産地消の推進を目的としてJA根室地区青年部連絡協議会、JA根室地区女性協議会、根室地区酪農対策協議会が主催しています。

今年も約450人が来場され、道産米をはじめ、牛乳や根室地域の豊富な魚介などを使った6種の料理やJA根室地区女性部が作るおつまみやスイーツの試食、レシピの配布、別会場では大手乳業メーカーの乳製品試食会や即売会が行われました。

最後には道産食材など豪華賞品があたるお楽しみ抽選会が行われ、会場は終始大賑わいでした。



畜農対策情報

根室農業改良普及センター

優良事例に学ぶ繁殖管理術

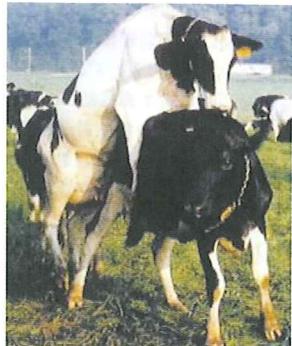


写真1 スタンディング

表1 調査農場の繁殖成績(平成23年)

	分娩間隔	初回授精日数	発情発見率	受胎率
調査農場	391日	77日	77%	46%
管内平均	430日	89日	54%	43%

・発情発見率とは、授精を行うべき牛の発情をどの程度把握しているかの指標

・受胎率とは、種付けした牛のうち何%受胎したかを示す数値

現在、普及センターでは地域の繁殖成績トップクラスの農場事例を調査しています。今回はその中の1事例を紹介します。

調査農場は繫ぎ飼いで、飼養頭数73頭と乳量850kgは根室管内の平均的水準で放牧を行っています。

現

1 発情を見つける前の準備

牛群の中で注意すべき牛をリストアップしたメモやノートを作業中も携帯し、発情牛の発見に活用しています(表2)。メモの内容は

分娩日、難産、病気、初回発情、排血、その他しぐさなどを(表2)。メモの内容は

分娩日、難産、病気、初回発情、排血、その他しぐさなどを(表2)。メモの内容は

分娩日、難産、病気、初回発情、排血、その他しぐさなどを(表2)。メモの内容は

表2 作業中に携帯している発情注意牛のメモ

牛No.	分娩日	メモ
123	10/28	初回11/21
223	11/6	
323	11/8	低カル
423	11/20	
523	11/25	
878	11/30	
654	12/1	
852	12/5	後産停滞
963	12/14	
741	12/25	
357	12/28	

です。この事例の特徴は、初回発情や前回の授精、排血の情報をメモと繁殖カレンダーを併用して整理し、発情を見つける前にターゲットを絞り込んでいることです。

ただそんな中でも、以下の時は特に注意して観察していました。

①朝一番の牛の状態
②牛の出し入れ時、ゲート前で牛がかたまつたとき
また、外出する前は、必ず

てから出かけるようにしていました。そして「出かける前に必ず牛をちらつと見てから出かけるようにしている。そんなときに限って発情がきたる」そうです。

表2のメモから今日中に注意しておく牛を家族に伝え

てから出かけるようにしていました。そして「出かける前に必ず牛をちらつと見てから出かけるようにしている。そんなときに限って発情がきたる」そうです。

表2のメモから今日中に注意しておく牛を家族に伝え

4 情報の記録

情報は、全て繁殖カレンダー(写真2)に記録して整理します。調査農場では4色ペンを使用し、初回発情、

発情、種付け、妊娠等それを自分で色や記号を決めて、

一目でほしい情報を分類できるように工夫しています。

ターゲットを絞った牛の発情サインを逃さないようになります。乗駕を静止して受け入れる状態「スタンディング」(写真1)と、粘液や陰部腫脹、しぐさなど徴候を総合的に判断し、不安があれば授精師に「これ来てるような気がするんだけど」と確認をとるようにしてい

ます。通常は最低でも1日2回、1回当たり約30分間の発情観察が望ましいとされていますが、成績の良い農場では、1日何回発情観察をするのですか?という質問に「1日中ずっと、牛が見えるときは観察している」とのこと。

ターゲットを絞った牛の発情サインを逃さないようになります。乗駕を静止して受け入れる状態「スタンディング」(写真1)と、粘液や陰部腫脹、しぐさなど徴候を総合的に判断し、不安があれば授精師に「これ来てるような気がするんだけど」と確認をとるようにしてい



写真2 使用している繁殖カレンダー(ジェネティクス北海道)

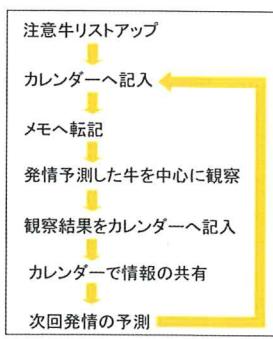


図 発情発見作業の流れ



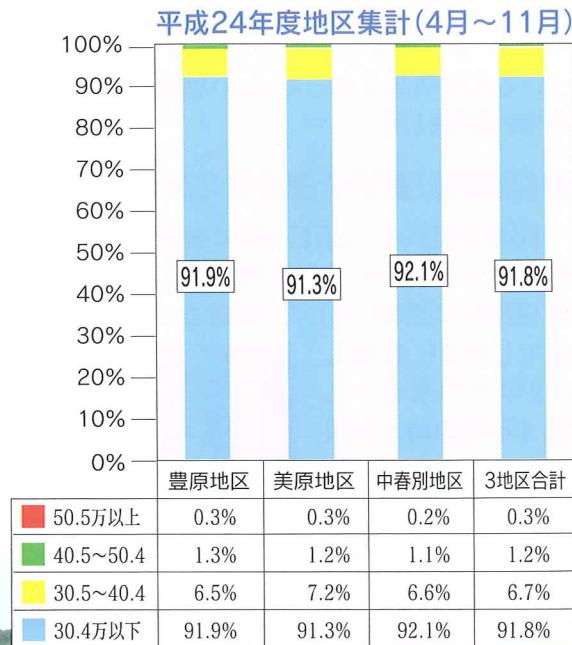
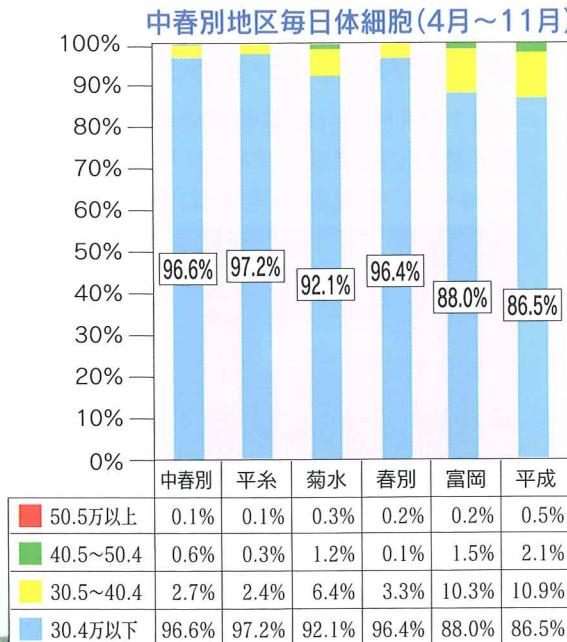
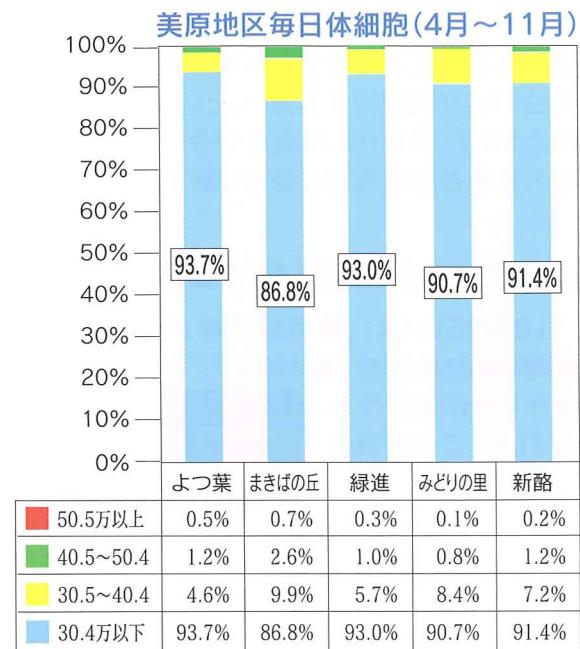
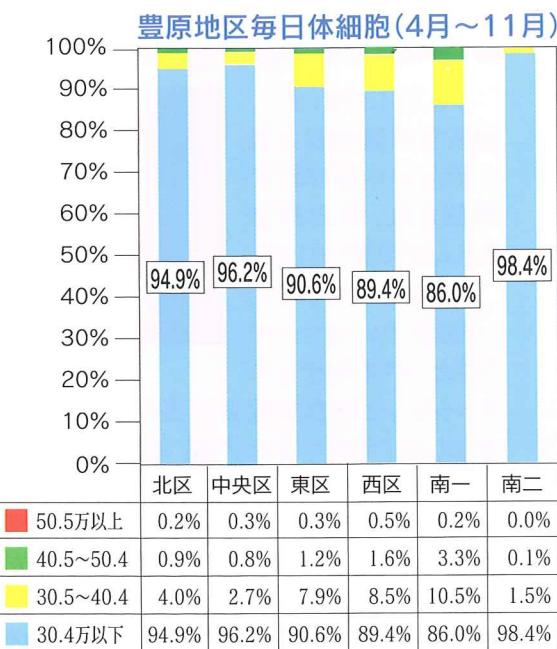
生乳汚染事故を無くそう!

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 2件 管内では
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では
- 異物混入、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では
- 異臭、異常風味による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では

8件の発生です。
0件です。
管内では 1件です。
管内では 1件です。

寒冷期の生乳細菌対策は大丈夫ですか？

- * ミルカー、バルクの洗浄水温度は適正ですか？
- * 自動洗浄後の定期的な確認はしていますか？
- * 衛生的な搾乳作業で、きれいで良質な牛乳を!!



北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

12月号

●【経営科】酪農研修秋季(1年)を実施!

10月17日(水)、酪農経営科1年生を対象に、別海町酪農研修牧場で酪農研修秋季が行われました。春に続いて2回目の実施で、午前中は谷野牧場長からカウコンフォートや牛との接し方について講義を受け、その後、牛舎の清掃を実際に体験しました。午後からは牛体管理の実践や、成牛の体温測定(体長・胸囲・腰角幅など)を実際にを行い、また体温計を直腸に入れて牛の体温の測定をしました。生徒は「人の体温より少し高い」ということが理解出来たようです。終わりに代表者が今日の研修についてのお礼を谷野牧場長に言って終了しました。

【文責:鈴木新】



●【経営科】苗作り(1年)を実施!

10月25日(火)、酪農経営科1年生を対象に、釧路開発建設部と(株)森林環境アライズの指導の下、苗作り大作戦が行われました。この事業は別海町に自生している樹木の種子(ななかまど・オニぐるみ・ほざきしもつけなど)を播種し、育成2年後の夏に植樹するという事業の一部です。生徒からは「別海にある樹が、こういう作業をしてから植えられているのを初めて知った」との感想もあり、充実した事業となりました。

【文責:大村】



●【経営科】農ク全国大会に出場!

10月24日(水)、25日(木)に長野県で開催された農業クラブ全国大会に本校から1人が農業鑑定競技(畜産)に出場しました。残念ながら入賞出来ませんでしたが、参加した2年生の水本さんは、1年生の時も全国大会に参加しているので、来年は3年連続参加して優秀賞を取りたいと今から学習に取り組んでいます。

【農業鑑定競技(畜産)】水本 恵(2年)出 場

【文責:鈴木新】



●【専攻科1年目】酪農経営管理学実施

実際の台帳作成と仕訳・元帳転記を行う前の、基本的な考え方について学んでいます。

昼食後の授業という一番眠い時間にも関わらず、「貪欲に学び知識として生かす」姿勢が一人一人感じられます。12月からはコンピュータソフトを用いた仕訳をします。このような活気づいた状況が続くと良いと思いました。

【文責:菊地】



仕訳帳記入・元帳転記の様子

●【専攻科】新規参入者交流会へ参加

10月23日(火)、根室管内新規参入者交流会が中標津町で開催され、専攻科学生6人が参加しました。

「私がここでやりたい酪農」というテーマのもと、パネルディスカッションと昼食交流会が実施され、パネラーとして参加した1年目学生の門脇 翔太君や参加学生達は、経営の現状や6次産業を視野にいれた経営スタイルの模索など、新規参入者の皆さんと意見交換をおこないました。今後の農場経営に向けての良い刺激と多くのヒントを得ることができた様子でした。また、その後の昼食会においても、参加者との交流を深め、実りある交流会となりました。

【文責:中村】



パネルディスカッションの様子

●【専攻科】“あ・ら・かると” 交流会参加!

11月6日(火)根室農業改良普及センターで、ねむろ農村女性グループネットワーク協議会主催の「“あ・ら・かると”交流会」が行われました。



発表中の様子

交流会の中で専攻科1年目学生の村上君と大澤君が「加工実習」で製造している「ソーセージ」について紹介し、たくさんの方々に食味調査の協力をしていただきました。皆様からは、「手作り感がとても良い」「塩味が強い。少し弱めて、香辛料を入れる工夫もほしい」等多くの意見を頂きました。昼食交流会でも多くの皆さんのお話を聞くことが出来ました。こういった機会を是非、今後の学生生活に生かしてほしいです。

【文責:菊地】

酪農王国別海からの出発

別海高等学校農業特別専攻科 平成25年度学生募集



働きながら
2年間学び
ます

ニュージー
ランドで研修
ができます

経営に生か
せる学習が
できます



ニュージーランド農家との交流



専門性を高める授業

○資料請求、学校教育内容のお問い合わせは下記まで

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1 TEL0153-75-2053 FAX0153-75-2263
ホームページ <http://www.bekkai.hokkaidoc.ed.jp> E-mail bekkai-t4@hokkaido-c.ed.jp

- 修業年限 2年
- 募集学科 農業特別専攻科（酪農経営科）
- 出願期間 平成25年1月15日(火) 午前9時から1月25日(金) 正午まで（土曜日及び日曜日を除く）。
- 検査日 平成25年2月6日(水) 午前9時
- 出願資格 高等学校を卒業した者、もしくは平成25年3月末日までに高等学校卒業見込みの者で、畜産に従事しながら本校に通学可能な者（寮はありません）。
- 願書配布 平成24年12月5日(水)から

青年部・女性部合同 お歳暮オリジナルギフトお礼と結果報告

『注文総数291セット』

今年も青年部・女性部合同お歳暮オリジナルギフトの作成、取りまとめを行いました。

今年度は、乳製品2セット、牛肉・ほたて1セット、中春別産オリジナルセット1セットの作成・推進を行い、皆様方のご協力のもと去年よりも31セット増の291セットの注文をいただくことができました。

各セットの結果はAセット126セット、Bセット87セット、Cセット62セット、中春別産オリジナルセット16セット。注文金額計1,445,500円でした。数多くのご注文ありがとうございました。

来年度以降も消費拡大を目指し、青年部・女性部協力し合い、皆さんにお喜びいただけるセット内容を作れるよう考案していくので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

大きく育って帰ってきたよ～

中春別共和牧場 下牧

共和育成牧場にて、約5ヶ月間育成された牛たちの下牧が10月31日に行われました。

今年6月に入牧された牛たちが共和育成牧場の広大な牧草地で過ごし、やんちゃだった牛たちも立派に育ち、それぞれの牧場へと帰って行きました。ひとまわりもふたまわりも大きくなった牛たちは、飼い主の元でこれからも元気いっぱいに過ごすことと思います。皆さまお疲れさまでした。



別海高校農業特別専攻科からのお知らせ

専攻科同窓会・後援会の皆様へ

農業特別専攻科は今年、開設40周年を迎えました。それに伴いまして、専攻科同窓会・後援会では記念事業協賛会を設立し、各種事業を実施して参りました。皆様のご協力もあり、計画されていた事業は滞りなく全て終えることができました。

つきましては、下記の日程で開設40周年記念事業協賛会解散総会を開催したいと考えておりますので、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきたくお願い申し上げます。

記

- ◆日時:平成25年1月22日(火) 20:00~
- ◆場所:旅館石川屋(別海町別海西本町1)
- ◆会費:4,000円
- ◆内容:事業報告および決算報告

* 総会にご出席できる会員様は、お手数ですが下記事務局に1月18日(金)までご連絡くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

【事務局連絡先】

〒086-0215 北海道野付郡別海町別海緑町70-1 電話:0153-75-2053 FAX:0153-75-2263
担当者:加瀬 利憲(かせ トシル)

科 訓
酪理実践

北海道別海高等学校農業特別専攻科

第2回
店舗利用者
懇談会

11月16日(金)、第2回店舗利用者懇談会が農業者団地センタートレーニング室にて行われました。

「美味しい!」と、 好評だつた中春別和牛

Aコープ中春別でしかできないサービスに期待



出席者からは多くの期待の声が聞かれました

農協より店舗行事の実績報告、渡辺奎一さんより中春別和牛の取り組み内容について説明された後、実際に中春別和牛とチクレン牛肉の食べ比べを行いました。
「すごい食べやすかつた!」「脂のあまみの違いが分かった!」など、とても好評で、「内蔵やタンなどもあればいい」とたくさんの意見が出ました。

店舗事業に関しては、「Aコープ中春別でしかできないサービスも行ってほしい」などと、期待の声も寄せられました。

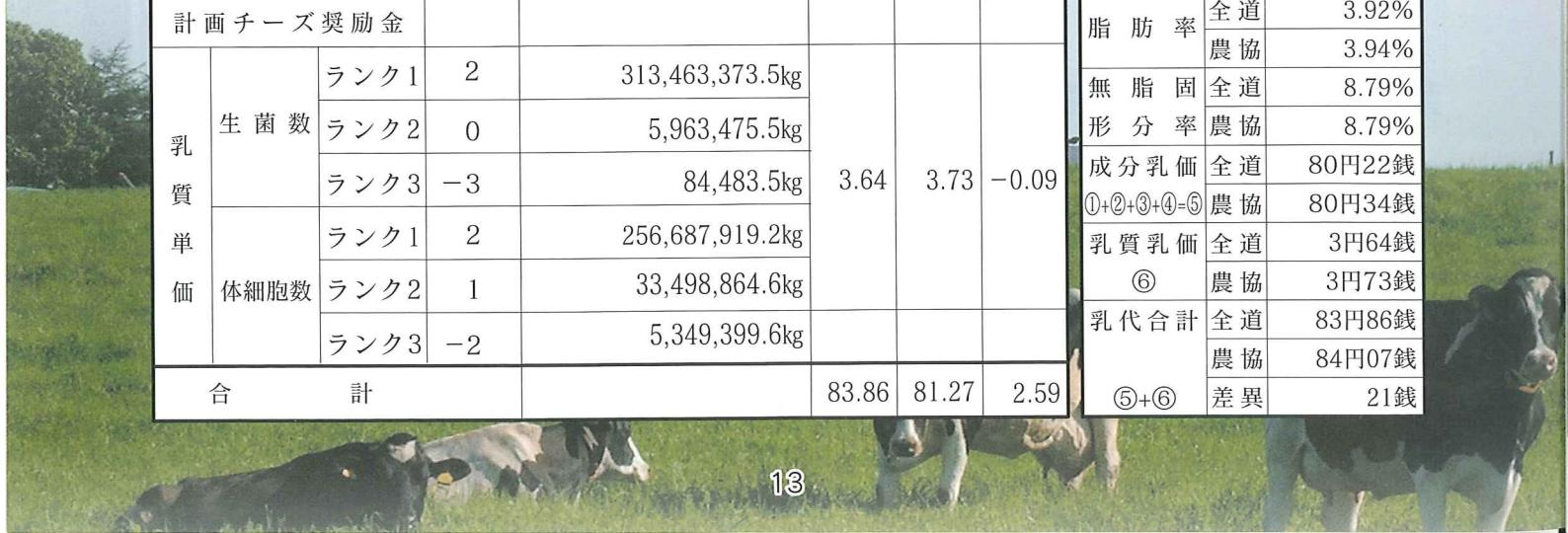
10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

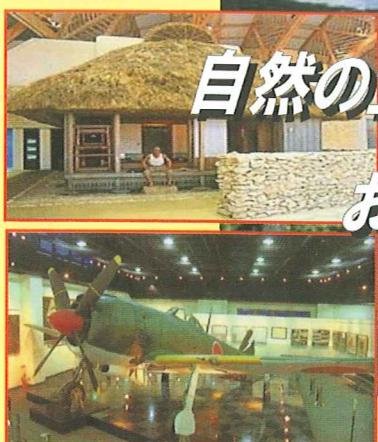
	単価	算出基礎	支払価	前年期	差
乳脂肪分	806.037		31.63	30.77	0.86
無脂乳固形分	509.118		44.76	43.00	1.76
補給金	3.8255		3.83	3.77	0.06
計画チーズ奨励金					
乳質単価	生菌数	ランク1 ランク2 ランク3	2 0 -3	313,463,373.5kg 5,963,475.5kg 84,483.5kg	3.64 3.73 -0.09
	体細胞数	ランク1 ランク2 ランク3	2 1 -2	256,687,919.2kg 33,498,864.6kg 5,349,399.6kg	
	合計			83.86	81.27 2.59

10月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg) %
乳脂肪分①	31円63銭
無脂乳固形分②	44円76銭
補給金③	3円83銭
チーズ奨励金④	
脂肪率	全道 3.92% 農協 3.94%
無脂固形分率	全道 8.79% 農協 8.79%
成分乳価	全道 80円22銭 ①②+③+④=⑤ 農協 80円34銭
乳質乳価	全道 3円64銭 ⑥ 農協 3円73銭
乳代合計	全道 83円86銭 農協 84円07銭 ⑤+⑥ 差異 21銭



平成24年度おすすめ企画のご提案



自然の宝庫‘奄美大島’と おいどん鹿児島 名湯指宿の旅

3泊4日

【ご旅行代金】大人お1人様／4名様1室以上

¥148,000 [税込]

※写真は全てイメージです。

日次	日付	行程内容			
1	2/25 (月)	貸切バス JA 中標津発 釧路空港 7.00頃 9:30/10:25	JAL1144 羽田空港（弁） 12:15/13:30	JAL1871 鹿児島空港 15:30	鹿児島さっての名庭 仙巖園 喜入 指宿温泉（泊） ● 到着後は指宿名物砂蒸し風呂をお楽しみ下さい。
2	2/26 (火)	薩摩富士「開聞岳」を眺望 ホテル 池田湖 知覧特攻記念館 桜島展望船にて 鹿児島港 桜島港 鹿児島空港 奄美空港 奄美大島（泊）	薩摩の小京都 焼酎工場見学 JAC3733		
3	2/27 (水)	ホテル 島内観光（大浜海浜公園・田中一村旧家・西郷南州居跡・ 黒糖焼酎工場・奄美民俗村・奄美パーク・田中一村美術館） 奄美大島（泊）	自然の宝庫 奄美大島観光①		
4	2/28 (木)	ホテル 島内観光（あやまる峠・原ハブ屋奄美愛ましょー・ 大島紬村） 奄美空港 15:00	自然の宝庫 奄美大島観光② JAL1956 羽田空港 16:45/18:00	JAL1149 釧路空港 19:35/20:00	貸切バス JA 中標津 22:30頃

■ 記号 :貸切バス :飛行機

■ 記載の行程は予定で、現地諸事情等により順路変更の場合がございます。予めご了承下さい。

- 旅行実施日/平成25年2月25日(月)～2月28日(木)
- 募集人員/30名様(最少催行人員20名様)
- 締切日/平成25年1月18日(金)※ただし満席になり次第締め切ります。
- 出発地より添乗員が全行程同行いたします。
- 利用予定ホテル 1泊目／指宿白水館(薩摩客殿)
2・3泊目／奄美リゾートホテルカレッタ
- 旅行代金に含まれるもの

コース表に明示した運送機関の運賃・各入場施設の料金、宿泊費、食事代(朝食3回・昼食4回(弁当1回含む)・夕食3回)、消費税等の諸税。

■ 詳しい旅行条件を記載した書面をお渡し致しますので、事前にご確認の上お申し込み下さい。

●旅行企画・実施●

観光庁長官登録旅行業第939号



帯広支店

〒080-0013帯広市西3条南7丁目14農協連ビル4階



TEL (0155) 24-4360

総合旅行業務取扱管理者／笠松孝司

★奄美への誘い★

奄美大島は東シナ海と太平洋にはさまれ黒潮が流れ、東洋の ガラパゴスと呼ばれる悠久の島です。青い海、緑豊かなマングローブと、自然豊かなこの島では、おいしい空気を味わえます。また亜熱帯の奄美大島は、一年中気候が温暖で、真冬でも色鮮やかな草花を楽しむことが可能です。そのほか奄美の人々の生活の一部である「島唄」も、チャンスがあれば聞けるかもしれません！？

ご宿泊予定ホテル



指宿温泉白水館(薩摩客殿)

壮大なロケーションのこのホテルは、トロピカルムードあふれる館内と、椰子の木があり南国情緒満点。



奄美リゾートホテルカレッタ

都会の喧騒を忘れさせる程静かなロケーションで奄美の島時間をお楽しみください。

MILK COOKING

PART 22



カッテージチーズ

出来上がり100g

牛乳-----300cc
酢(レモン汁でもよい)-----大さじ3



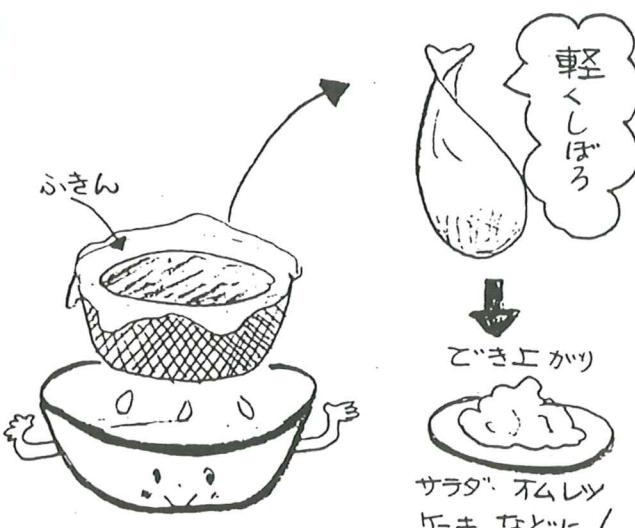
1

ホウロウ鍋に牛乳を入れて火にかけ、沸とう直前に火からおろす。55°Cまで冷まし、酢を加える。



2

たんぱく質と水分が分離したら、ふきんを敷いたガルにあけ、水気をきる。



*****チーズの種類



チーズの種類		チーズ名
ナチュラルチーズ	軟質チーズ	熟成しないもの 細菌による 白カビによる
		リンドルガー カマンベール・ブリー
	半硬質チーズ	細菌により熟成 かびにより熟成
		ブリック・チルジット ブルー・ロックフォール
	硬質チーズ	ガス孔(川さい穴)のあるもの " のないもの
		エメンタール・グリエール エダム・chedar・ゴーダ パルメザン
プロセスチーズ		ゴーダ・chedarなどのチーズを加工したチーズ

平成24年度 年末・年始の業務日程表

休業

日程 区分	平成24年				平成25年					御用始
	12/29(土)	12/30(日)	12/31(月)	1/1(火)	1/2(水)	1/3(木)	1/4(金)	1/5(土)	1/6(日)	
事務所(除く信用)	平常業務									
事務所信用窓口	ATM12時まで稼働						平常業務	ATM12時まで稼働		
Aコープ中春別	平常業務	午後3時まで営業		午後3時まで営業			午後3時まで営業			
給油所	平常業務	午後3時まで営業 (給油・配達)		午後3時まで営業 (給油・配達)			午後3時まで営業 (給油・配達)			
倉庫	平常業務	午前中のみ営業					平常業務			
訪問介護事業所「あさひな」	平常業務	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	
人工授精	平常業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	
共和育成牧場	平常業務	(家畜管理業務のみ)								
生乳	平常業務	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務	

備中春別マシンセンター	午前中のみ営業						午前中のみ営業	午前中のみ営業		御用始
-------------	---------	--	--	--	--	--	---------	---------	--	-----

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務宅76-2475 土屋工場長宅76-2466

備中春別マシンセンター	午前中のみ営業									御用始
-------------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 猿谷専務宅76-2076

久保山課長(携帯)090-1529-9846

◎販売関連業務 (1)初生トク集荷

年内最終集荷12月28日 年明集荷1月4日

(2)哺育・育成集荷

年内最終集荷12月29日 年明集荷1月4日

(3)ホクレン市場

最終開催日12月26日(初生のみ) 年明開催日1月9日

ATM稼働日について

当JA 12/30(日)~1/3(木)休業

近隣JAでは、JA中標準あるが12/30・31稼働

銀行・セブン銀行は12/30・31稼働

1/1~1/3はJAシステム完全停止日

1/4から平常営業

◎人工授精業務 午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電 北電72-2010
- (2)除雪 平間課長宅0153-86-2130、福島次長宅76-2157
- (3)給油 (緊急携帯)郡司係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送 (緊急携帯)別海貨物(山口)090-5072-3954
- (5)生乳検査 平間係長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査 (緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障 赤井担当080-6096-5387
- (8)その他 高市課長宅78-9632、登部長宅75-0517

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

●休業 12月31日(夕)~1月4日(朝)

●業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始

●緊急ヘルパー受付

★農協営業日 営農振興課 電話76-2241番

★農協休業日 高野課長 携帯電話 090-9515-0264

相澤係長 携帯電話 090-8900-9356

議 案

1. 年末年始の業務日程について
2. 北海道条例監査に伴う改善事項の回答について
3. 規程類管理規程の改正について
4. 職制規程の改正について
5. 資産査定要領の改正について
6. 平成24営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
7. 平成24営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
8. 給油所施設の賃貸借契約解約及び固定資産の取得について
9. 建物賃貸借契約について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 職員の退職について
3. 固定資産の実査の終了について
4. 平成24年度9月末定期監査報告書について
5. 平成24年度9月末子会社の監査報告書について
6. JAバンク2012ラストWチャンスキャンペーンの実施について
7. JA中春別人事労務基本方針の制定について
8. 職員教育訓練要領の制定について
9. 担保評価マニュアルの制定について
10. 自己査定マニュアルの改正について
11. 平成24年度10月末営農生産関連実績について
12. 平成24年度草地生産性向上対策事業に係る実績について
13. 平成24年度農業体质強化基盤整備促進事業に係る実績について
14. 平成24年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
15. 平成24年度酪農環境負荷軽減支援事業に係る奨励金交付について
16. 共和育成牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払について
17. 良質乳生産乳用牛確保維持対策事業及び育成牛維持確保対策事業並びに生乳生産維持向上対策事業の希望状況について
18. 固定資産の取得について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について





楽しい家族と一緒に 相澤さん家のラミくん・♀

中春別地区・相澤 敬治さん家

★飼い始めたきっかけ

家の前に捨てられていたラミが牛舎で住むようになり、家族によく懐くので可愛がるようになりました。

★名前の由来

野球好きの敬治さんが「ラミレス」と名づけ、呼びやすいように「ラミ」と呼んでいます。

★好きなこと（もの）はなんですか？

魚が大好物で、ごはんは魚をもらって食べています。



お祈り申し上げます。

▼この一年、みなさんにとつてどんな年になつたでしようか？年末になれば親戚や友人が帰ってきて、近状報告や思い出話に花を咲かせるお宅もあるとは思いますが、また、来年もいい年でありますよう

編集後記